

防除の変更について（号外第4号）

平成30年5月28日
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

現在、産地全体で黒星病の発生が、昨年、一昨年と比べて多い状況です。
このため、黒星病対策強化を目的に10回目～12回目の防除を下記のとおり変更いたしますので、対応について宜しくお願いします。

なお、次回（9回目）の防除は、当初計画どおり5月30日～6月1日に実施して下さい。

【変更点】

①防除間隔を9日⇒7日に変更 ②12回目防除に「ユニックス顆粒水和剤47」を追加

回数	散布月日	薬剤名と濃度	散布量	主な対象病害虫
9	5月30日 ～ 6月1日	オキシラン水和剤 600倍 アプロードフロアブル 1,000倍	300 ^{リットル}	黒星病、輪紋病 カイガラムシ類幼虫
10	6月6日 ～8日	キャプレート水和剤 600倍 スプラサイド水和剤 1,500倍	300 ^{リットル}	黒星病、輪紋病 シンクイムシ類、アブラムシ類 カメムシ類、クワコナカイガラムシ
11	6月13日 ～15日	オキシラン水和剤 600倍 サムコルフロアブル 10 5,000倍	300 ^{リットル}	黒星病、輪紋病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 ケムシ類
12	6月20日 ～22日	<u>ユニックス顆粒水和剤47</u> 2,000倍 ダニゲッターフロアブル 2,000倍	400 ^{リットル}	黒星病 ハダニ類 ニセシバダニ類
<p>●特別防除薬剤として、<u>ユニックス顆粒水和剤47</u>を追加しますので、薬剤の準備をお願いします。</p> <p>○殺ダニ剤の効果をも十分に発揮させるため、事前に草刈りを実施して下さい。</p>				

★黒星病対策は、農薬防除はもちろん、新たな感染源である園地内の罹病果実・葉の除去が極めて重要です（農薬頼みの対策では十分な効果は期待できません）
★黒星病は降雨により感染が助長されます。梅雨入り（6月12月頃）までに罹病果実・葉の除去の徹底をお願いします。